



2023年7月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiyymca.org
 発行人 / 塩澤 達俊
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News



「多文化共生社会」を目指して



表紙の写真から：2019年度 ICEP3DAYS にて。

とちぎYMCA で過ごす夏の1か月間は一生の思い出になることでしょう。

新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し、今までの生活が戻りつつある中、とちぎYMCAにもICEPの学生たちが4年ぶりに戻ってきます！ICEPとは、マサチューセッツ州のBecket-Chimney Corners YMCAで行っているユース国際交流キャンプで、毎年、夏期に1か月間14～16歳の学生が十数名とちぎYMCAに滞在し、日本の子どもから成人の方まで様々な方との活動を通して交流を深めます。いつも印象的なのは、彼らが自身のバックグラウンドについて話をするときです。彼らは様々なバックグラウンドを持っていて、自分はイタリア系であるとか、アフリカ系であるとか、中華系であるとかいつも自分のルーツの話をしてくれます。おじいさんやおばあさん、ひいおじいさん、ひいおばあさんがどのようにアメリカに来て、どのように現在の彼らの生活があるのか、みな自信に満ち溢れた姿で語ってくれます。日本では一昔前までは俗に言われる「ハーフ」や、海外にルーツを持つ人たちが、自分は日本人でもなく、どの国にも属していないと感じる。とか、容姿がみんなと違うのでいじめられた。などあまりよくない話を聞くことが多くありました。現在はその時より少し状況は変わっているでしょうが、まだ良いことも悪いことも含めて特別感があるように感じます。それは本人次第ということだけでなく、受入れる周りの環境によることが大きいと思います。さまざまなバックグラウンドを持っていることが当たり前で、自他ともにそれを認め合っている社会で育った彼らと、日本の「単一民族観」がある社会で育った私たちとは大

きな違いがあると実感させられます。ICEPプログラムは、どうすれば、自分に自信をもち、多様性を認めることができるのかを考えるプログラムの一つです。

その他にも、国際教育プログラムの一つに英語クラスがあります。英語ができることだけでは多様性を受け入れる心は育ちません。しかし、英語ができることによって世界の人々と話すチャンスが生まれ、視野を広く持つことができます。YMCAイングリッシュでは、単に英語を学ぶだけでなく、コミュニケーションに力を入れ、小さなうちからいろいろな価値観に出会う場を大切にしています。日本国内という小さな世界だけでなく、世界のいろいろな人や考えに出会い、たくさんの経験を通して、多様性を受け入れられる心が育つことを目指しています。

近年「在留外国人」の数は増加していて、栃木県内でも外国人住民数は、5年前が38,843人に対し、2022年は44,741人で、5,898人も増えています。今後も海外にルーツを持つ人たちは益々増えていくでしょう。これらのプログラムを通して、「日本人」「それ以外」という枠組みではなく、一人ひとりが一地域で自分のアイデンティティに誇りをもち、共生できるような社会を目指す仲間が増えていくことを願っています。

とちぎYMCA 語学国際主任
 小野寺 温代

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2023年度とちぎYMCA年間聖句

主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」(イザヤ書40章31節)

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイによる福音書11章28節)



認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「 6月のご報告 」



【野外保育】
宇都宮文化の森公園に出かけました。園からも近く市街地からも離れていない場所にある公園ですが木立の中に入ると様相が一変し森の中に迷い込んだようなワクワク感があります。年長組は森の中を探検し「何かが出てきそう」な道を歩いてきました。「くまがいそう」「おばけがいるかも」「トトロじゃない」などと楽しい会話が弾みました。

【給食試食会】
今年度も4日間に分けて行いました。子どもたちが普段食べている給食を実際に保護者の方々に食べていただきました。「おいしかった」や「家庭での味付けの参考になりました」など様々な感想をいただきました。参加して下さった保護者の皆様、ご協力いただいたクラス委員の方々、ありがとうございました。

【花の日】
6月5日花の日礼拝を行った後に、日ごろからお世話になっている方々に感謝の気持ちと共にお花を届けにきました。年長組は県庁や市役所、西消防署、中央警察署などに伺いました。西消防署では宇都宮で西消防署にしかない8階まで届くはしこ車を見せていただき、中央警察署ではパトカーに乗せてもらい、貴重な体験をさせていただきました。きれいなお花を持たせて下さった保護者の皆様、ありがとうございました。



【プール組み立て】
6月10日(土) 係の保護者の皆さんにお手伝いをいただき園庭にプールが完成しました。朝から蒸し暑い一日でしたが汗ながら一生懸命、一つ一つの部品を丁寧に組み立てて下さいました。本当にありがとうございました。水の楽しさと危険を学びながら今年度も水泳教室を行っています。

本澤利香

子どもの家だより ～宝木子どもの家(チャイルドクラブ)～ 「 楽しい夏休みに向けて 」



新年度が始まり日々慌ただしく過ごし、気が付けば2カ月がたちました。現在チャイルドクラブでは1年生66名、2年生57名、3年生21名、4年生18名、5年生8名、6年生4名の計200名の児童が過ごしています。その他にも、夏休みの利用や通年での利用申し込みもあります。

入学当初はおとなしかった1年生も今ではすっかり打ち解けて毎日楽しく過ごしております。2・3年生は初めての縦割りでの生活に戸惑いを感じながらも仲良く過ごし、4・5・

6年生は、今年度より学校から貸していただいている慣れ親しんだ教室での生活にワクワクした様子が見られました。今では、どの学年もチャイルドでの生活にも慣れ、保護者の方からも「毎日、楽しい!」と言っています」という励みになるお言葉もいただいております。

先日、今年初めての避難訓練を行いました。前日には各教室で地震の避難訓練の話しをし、地震が起きたときにどうしたら良いかを改めて子どもたちと確認しました。当日は真剣に避難訓練に取り組み、先生たちの「地震です。頭を守って隠れてください」「地震が収まりました。外に出ます」という指示をよく聞いて、話しをせずに無事避難することができました。最後は点呼を行い、全員の無事を確認し終えることができました。

もうすぐ夏休みになります。支援員は一人ひとりの子どもたちの安全を考えながら、楽しい夏休みになるように行事を考え、製作や準備を行っています。

主任支援員 狐塚 節子

親と子の居場所めいめい

「 花壇づくりに挑戦! 」



先日みんなで一緒に花壇づくりを行いました。それぞれのプランターに好きな絵を描き、様々なプランターができました。花を植える際はマリーゴールド・ペコニアの花を選び、土を敷き詰め、一生懸命に取り組んでいました。中には「小学校でやるからできるよ」と教えてくれた子どもが、経験のないお友だちに教えている様子も見られました。めいめいに来ると、子どもたちは自分の花壇に水をあげ、花を育てています。植物を育てることで子どもたちの心も豊かになることを願っています。

また、6月の中旬には学習・制作ルームを作りました。ここは子どもたちが自分の学習や工作など落ち着いて行えるスペースです。宿題を持ってきてスタッフやボランティアと一緒にいたり、お絵描きや折り紙など自分の発想で様々なものを作ったりしています。子どもがおうちの方やお友だちに手紙を書き、渡している姿は大変微笑ましいです。今後もめいめいでは、様々な遊びや学習が提供できるように準備を進めて参ります。



ようとう保育園

「 もうすぐ運動会2023 」

2023年度のテーマは『笑顔あふれる みんなで楽しい 運動会!～全員集合～』です。先日から練習が始まりました。



初めてお父さんお母さんの元を離れて競技を行うドキドキのうぐいす組(年少)。最初は初めてのことでなかなか練習をしていくなかで「運動会って楽しい!」と気づいてからは一つひとつの競技を楽しんで取り組めるようになりました。

ふじ組(年中)は去年から憧れていたパラバレーンに挑戦。見ていて楽しい技も、いざ自分たちがやってみると、とても難しいことに気がきました。練習をしていくなかで少しずつできる技が増えていく度に「できたね!」とクラスみんなで喜びを共有しています。



最後の運動会にやる気十分なのが、さくら組(年長)です。競技以外にも開会式や閉会式で役割があり、責任とやりがいを感じながら練習に取り組んでいます。ダンスでは左右を合わせた目線や指先を意識したりと、年長児らしい細かいところを意識したダンスを、子どもたち同士で教え合いながら練習を重ねています。



各クラスの競技だけでなく、玉入れやリレーなどの合同競技も見どころの一つです。年上の子は年下の子の見本になり、年下の子は年上の子を手本にし、お互い刺激し合いながら幼児全体での練習を楽しんでいます。もうすぐ運動会本番です。残りわずかな時間を悔いの残らないよう全力で練習に取り組む、当日は練習の成果を発揮し、スローガンでもある「笑顔あふれる みんなで楽しい運動会」にしていきたいと思ひます。

運動会担当 中島 菜緒

宇都宮市青少年活動センター(トライ東)

「 小学生テニスが始まりました 」

先日小学生テニスプログラムが始まり、小学1年生～3年生の11人が楽しく参加しています。初めてテニスをするお友だちがほとんどで、ラケットでボールを打とうとしても上手くラケットにボールが当たらず空振りになっていましたが、ラケットでボールを打つ練習を繰り返したことで、最後はしっかりとラケットでボールを打っており、まだ力が入りきっていない様子でしたがネットを越して相手のコートに入っていました。着実に上手になっていく姿を見るのはとても嬉しい気持ちになります。

初回の練習メニューは、テニスコートの広さを体感するためコート内を走ったり、玉突き(上下)をしたり、ラケットでボールを打ち相手コートに打つタイミングやボール・力のコントロールの練習を行いました。

最後は子どもたちの大好きな試合です。シングルス(対一)で行い、子どもたちは練習で習った技術を使いながらとても楽しそうに試合をしていました。

最終回までにボールコントロールや力加減をマスターして運動すること、そしてテニスの楽しさを知っていただけたら嬉しく思います。

ひがしやまアトムクラブ

「 日々の様子 」



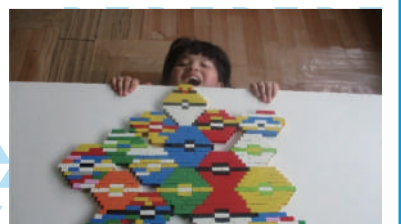
早めの桜の開花と共に暖かい日が続く、このまま初夏を迎えるのかと思っておりましたが、ここ最近朝晩と日中の寒暖差が激しく、子どもたちの衣服調整にも気を遣う毎日です。

ひがしやまアトムクラブでは4月1日から新1年生を迎え一段と賑やかな日々を過ごしています。上級生という立場に慣れない新2年生でしたが、徐々にスタッフと共に1年生のお世話をする姿も見せてくれる頼もしい存在となっています。

3年生になり上級生の棟に移動した子どもたちもスタッフの心配とは裏腹に上級生を交えた新しい交友関係を築き、遊びの幅も広がり楽しそうです。

下級生は上級生に憧れ良いところや(大人から見ると)悪いところも真似をして経験の幅を広げております。また、自ら行動し感謝される喜び等、学童ならではの異年齢集団での経験をたくさんしています。

子どもたちにとっては思うようにならない事も沢山あるとは思いますが、全ての経験を大切な学びとして遅く成長して欲しいと願っています。



高校生ボランティアグループ「つぼみ」

つぼみ食堂開催のご案内

とちぎYMCA 高校生ボランティアグループ「つぼみ」が昨年度より実施をしていた『つぼみ食堂』を今年度も開催いたします。2023年度は年間7回の開催を予定しております。

つぼみ食堂は、高校生がつぼみでの活動をする中で、①子どもの居場所をつくること②1人でも多くの子どもを笑顔にすることを目的に開所した子ども食堂です。今年度第1回目の報告についてはつぼみ通信をご覧ください。

【年間予定】

①6月17日 (土) 16:00~18:00

②7月9日 (日) 11:00~14:30

※宇都宮市青少年活動センター (トライ東)

主催事業「あそぼまつり」内での出店

③10月28日 (土) 時間未定

※宇都宮市青少年活動センター (トライ東)

主催事業「ハロウィーンカーニバル」内での出店

④11月19日 (日) 時間未定

※宇都宮市青少年活動センター (トライ東)

主催事業「秋まつり」内での出店

⑤1月20日 (土) 16:00~18:00

⑥2月24日 (土) 16:00~18:00

⑦3月16日 (土) 16:00~18:00



2023年度とちぎYMCA高校生ボランティア「つぼみ」

つぼみ食堂

とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」による「子ども食堂」です。費用は皆様の「おきもち」で！子どもたちや地域の方々の中心となる「アウトホーム」な居場所づくりを目指しています。

つぼみ食堂 年間表

6/17(土) 16:00~18:00	7/9(日) 11:00~14:30	10/28(土) ※時間未定 お問い合わせください	11/19(日) ※時間未定 お問い合わせください
1/20(土) 16:00~18:00	2/24(土) 16:00~18:00	3/16(土) 16:00~18:00	

青少年活動センター トライ東
〒321-0962
栃木県宇都宮市今泉町3007
☎028-663-3155 担当:川口

国際プログラムのご案内

「アジア学院 フレンズデー・フレンズマルシェ」に行ってみよう!

那須塩原市にあるアジア学院は今年50周年を迎えます。アジアやアフリカ諸国から来日した農村指導者たちが、農村コミュニティのリーダーシップを学んでいます。(詳しくは、アジア学院のホームページをご覧ください。)

このマルシェで、学院に集う人たちがモノに触れたり、心も体も喜ぶ食べ物を食べたり、素敵な体験をしてください。
☆とちぎYMCAも出店し、北タイとフィリピンのフェアトレード手芸品を販売します!

「アジア学院フレンズデー・フレンズマルシェ」

【日時】2023年7月17日(月) 9:00~15:30
※食事は早めに売り切れとなる可能性があります。

【場所】アジア学院キャンパス 栃木県那須塩原市槻沢442-1

【出店内容】

・アジア学院の卒業生、元ボランティアなどによるオーガニックの農産品や食事、フェアトレードの品物を販売(東北・南部インドカレー食べ比べ、マダガスカルチョコレートアイス、有機穀物のパンとスイーツ、有機野菜、フェアトレードのカワイイ小物、手作りワークショップなど)

・栃木をベースに活躍するアジア学院を巣立った方々、支援団体の素晴らしい逸品、そして皆様との交流を、十分にお楽しみください!
※エコバッグ、マイ箸、マイスプーン、マイ皿、マイカップのご持参にご協力ください。
※駐車場利用:有料(予定)
★(予定)フレンズデー トークセッション
地域に根ざした活動を行う日本人卒業生のお話
塩谷町地域おこし協力隊として活躍する2022年度研究科生・小松原啓加さんによる、アジア学院での学びを活かした農村地域貢献活動の紹介。
13:30 @ 教室棟

ママパパとはじめよう! 1st Step 親子英語クラス

【時間】10:30~11:20

【曜日・期間】毎週火曜日 9月~翌年3月まで

【場所】宇都宮YMCA(宇都宮市松原2-7-42/さくらんぼ幼稚園内)

【対象】1歳半~3歳(未就園児)親子

【定員】8組 ※最少催行人数3組

【料金(税込)】

プログラム会員費(2023年度分) 3,300円
教材費(クラフト代など) 6,600円
授業料(9月開始の場合/全24回) 8,270円×6回
《一括》46,992円

2023年度YMCAイングリッシュプログラム



ママパパとはじめよう!

1st Step

おやこ英語クラス



親子と一緒に英語を始めてみませんか?歌や絵本の読み聞かせを通して楽しく英語を学びます。外国人講師と日本人アシスタントのペアティーチングなので、集団活動が初めてのお子様も、英語クラスが初めての保護者様も安心してご参加頂けます。また、おうちで英語教材に触れていてアウトプットの場所を探している方、英語幼稚園への入園をご検討中の方にもおすすめのクラスです。YMCAで「1st Step(はじめの一步)」をふみ出してみましよう!

【時間】午前10:30~11:20

【曜日・期間】毎週火曜日 9月~翌年3月まで

【場所】宇都宮YMCA(宇都宮市松原2-7-42/さくらんぼ幼稚園内)

【対象】1歳半~3歳(未就園児)親子

【定員】8組 ※最少催行人数3組

【料金(税込)】プログラム会員費(2023年度分) 3,300円
教材費(クラフト代など) 6,600円
授業料(9月開始の場合/全24回) 8,270円×6回
《一括》46,992円

【プログラム内容(9月)】
10:30~10:40 Greeting(あいさつ)
10:40~11:15 Theme Activity(テーマの活動)
11:15~11:20 Good-bye Time

<無料体験会のご案内>

7月4日(火)・18日(火)・25(火)
10:30-11:10
※お気軽にご参加ください!

↓ご予約はこちらのQRコードから↓



予約制となります。ご予約のキャンセルは、宇都宮YMCA(028-634-3546)までお電話下さい。

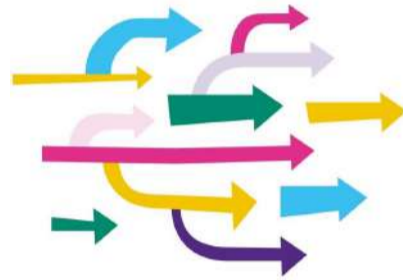
ICEP プログラム アメリカの中学生が来日します!

ICEPプログラムを通して、7月7日～8月6日の1か月間、アメリカから高校1年生が16名来日します。6月上旬よりホームページで交流プログラムへの参加者やボランティア、ホームステイの受入れ家庭を募集しております!

*ICEP(International Camper's Exchange Program)とは、青少年国際交流キャンプのことで、1963年にアメリカ東海岸にある Becket-Chimney Corners YMCA で始まり、スウェーデン、ロシア、タイ、チリ、オーストラリア、日本などで実施されています。2020年から新型コロナウイルスの影響で休止していましたが、今年度から再開されることになりました。

【主な交流プログラム(予定)】

7月8日(土)	ウェルカムパーティ
7月22日(土)	釜川クリーニング&オリオン通り散策(高校生・大学生)
7月24～25日(月～火)	English camp(小学生～中学生)
7月29日(土)	ユース交流会(高校生・大学生)
7月26～31日(水～月)	ホームステイ
8月1～3日(火～木)	3DAYS
8月5日(土)	さよならパーティ



2023年2月3月から実施していた「海外からの学生の受入れ拠点を作り、多文化共生発信基地を作りたい!」クラウドファンディングについて400万円目標のところ、1,105,220円で達成することはできませんでした。しかしながらたくさんの方々のご支援とご声援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。引き続き、様々な背景を持つ人々が集いたいと思える居場所作りに挑戦し続けて参ります。この度はご支援・ご協力を頂き、本当にありがとうございました。

月刊#(ハッシュタグ)



第26回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総理事
塩澤 達俊

#パンケーキ#ぐりとぐら#ちびくろサンボ#ポリコレ#ハッピー・ホリデー



「そういえば、最近はそう言わなくなったよねー」ということ、みなさんは心当たりがありますか?

例えば、幼児向け絵本の超定番!『ぐりとぐら』に出てくるおいしそうな“アレ”は「カステラ」なのですが、今では「パンケーキ」と呼ばれることが多いのではないのでしょうか?

また(わたしは議論があることを承知の上で敢えて多文化共生社会の教材として取り上げることがありますが)昭和の定番絵本『ちびくろサンボ』に出てくる虎のバターで作った“アレ”も今となっては「ホットケーキ」ではなく「パンケーキ」と称したほうが、通りが良いです。

アメリカ合衆国でも、クリスマスから新年にかけて使われるあいさつには、オバマ大統領の頃から「メリー・クリスマス!」ではなく一定の配慮から「ハッピー・ホリデーズ!」と言い換えて交わすことが定着したと聞きます(もちろん!わたしたちYMCAはキリスト教をミッションとしますので胸を張って“メリー・クリスマス!ですが・・・)。

実際にさくらんぼ幼稚園でもジェンダーやLGBTQなどへの配慮から、園児たちのお祈りの正座の姿勢を“お母さん座り”とは言わなくなりました(それもそのはず!お母さんだってアグラはかきますし、お父さんだって正座はしますから・・・)。

このような変化は「ポリティカル・コレクトネス」への配慮と呼ばれ、社会の特定のグループのメンバーに不快感や不利益を与えないように、人種、信条、性別、体型などのちがいによる偏見や差別を含まないように配慮された中立的な表現などを用いることが一般化しています。時代はカラフルな多様性を大切にすほうへとシフトしています。言葉や表現も世につれて変化をし、わたしたちの考え方もどんどんより良くアップ・デイトすることが求められています。

であればこそ、わたしたちは『ぐりとぐら』のカステラや『ちびくろサンボ』のホットケーキのように、どのように言い換えようとも、変わる事のない“美味しさ”や“幸福感”とは何なのか、ものごとの本質が何であるのか、を見失うことなく味わいつづけて行きたいものですね!



高校生ボランティアグループ「つぼみ」

つぼみ通信 vol.4



つぼみ食堂、開催!



つぼみでは子どもの貧困問題解決に向けて様々なアクションを起こしています。その一つとして、昨年の6月から『つぼみ食堂』という名前で子ども食堂を年間7回開催しています。このつぼみ食堂は、子どもの貧困撃退だけでなく、地域の方への居場所づくりを目指しています。

そして、6月17日(土)に今年度1回目のつぼみ食堂を開催することができました。4月からつぼみにも新しい仲間が加わり新体制になりましたが、「子どもたちが楽しんでくれるように」と、それぞれが沢山のアイデアを出して協力しました。あそびスペースの内容を考えたり、宣伝方法を昨年よりも工夫したりして、今回のつぼみ食堂開催へ向けて準備を頑張りました。当日は子どもたちをはじめ、地域の方など幅広い世代の方にお越しいただきました。つぼみ食堂へいらした際の皆さんの笑顔を見て、4月からの私たちの頑張りが実を結んだな、と思いました。

次回のつぼみ食堂は今回よりもさらにバージョンアップしたものをお届けし、たくさんの方に楽しんでいただきたいと思います。

作新学院高校2年 渡邊琴実(コニーリーダー)